

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、早期再就職のためのマッチングを最重要と考え、特に雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を重点的に進めることとしました。雇用保険受給者の再就職活動に関するニーズを的確に把握するため、従来失業給付の認定日に行っていた再就職支援にかかる希望のアンケートの内容を見直しました。アンケートでは再就職を希望する時期を確認し、それまでに提供できる支援メニューの紹介、求職者マイページの登録勧奨を行いました。求職者マイページを開設した方には、専門相談員（就職支援ナビゲーター）が、定期的に本人の希望にマッチする求人情報を求職者マイページを通じて提供し、応募書類の添削や面接トレーニングを行いました。

給付課では、早期再就職の場合に支給される「再就職手当」について、個人ごとにシミュレーションを示し、早期再就職の意欲喚起を行いました。令和5年3月末現在目標達成率は101.1%と目標を達成しました。

雇用保険受給者以外の求職者の方々にも広くサービスを提供し、早期再就職を目指すこととしました。当所が月2回、定期的で開催している「予約相談会」や就職意欲喚起セミナーなどの情報をスピーディに発信するため、LINEを開設しました。これにより、雇用保険受給者以外の潜在的求職者（若年層や子育て中で働くことを希望する方など）にも情報提供が可能となっています。

また、スマートフォンで求人を容易に検索できるよう「かんたん検索」のアイコンを設定し、ユニバーサルかつタイムリーな情報提供に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、年間を通じて若手職員（庶務課、雇用保険給付課、雇用保険適用課）を中心に人材育成を行いました。具体的には、所属部門でのジョブローテーションによる複数業務の経験機会の付与、所属以外の部門が行う就職フェアなどへの計画から実行までの参画、マッチング総合評価にかかる研修などを実施しました。特に就職フェアの運営については、若手職員に指示を出す中堅職員のマネジメント力向上につながっています。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症拡大による来所控え、スマートフォンなどのデジタル機器利用者の拡大により、来所せずとも再就職の情報が得られることが期待されています。

上記(1)①にも記載したように、LINEによる情報提供や、スマートフォン向けホームページの作製を行いました。LINEは令和3年7月より開始しました。開始当初は596名の登録者でしたが、令和5年3月30日現在1,205名まで増えています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

就職氷河期世代(35歳～54歳)の正社員就職に向けた支援は、就職支援ナビゲーターやコーディネーターを活用して個別相談や求人開拓を行ってきましたが、令和5年3月末日現在目標達成率74.3%と厳しい状況にあります。要因として考えられたことは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による新規求職申込者数の減少のほか、支援メニューが個別相談に限定されていたことが考えられました。このため、年末より就職氷河期世代対象セミナーの開催や「就職氷河期世代歓迎・限定求人情報一覧表」の作成などの改善を図りました。求人情報は、地方自治体のひきこもり支援窓口など幅広く提供を始めています。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度、管内の主要産業は「建設業」で全体の21.4%を占めています。慢性的な人手不足状況にあるため、タブレットによる図面管理、現場作業管理などを取り入れている事業所もありますが、最終は現場で現認する必要があり、人手不足感は拭えません。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、介護分野では感染を警戒しての応募控えや、運輸では材料を運搬する物流・運輸の流れの縮小など各業界の充足は厳しい状況です。このため、当所では「予約相談会」を開催しています。業界や仕事内容など直接企業による説明を行い、面接につながるようにしています。

2 特記事項

公的職業訓練受講生の就職支援については、受講生確保はもとより受講相談～受講修了後まで個別支援を行いました。受講生の確保対策としてホームページやLINEによる周知はもちろん、訓練施設に紹介動画を作成してもらい、失業給付の説明会場にて待合の時間に繰り返し放映することに取り組みました。また、修了日が近くなった頃から適合する求人情報の提供と求人者へのPRを行うことにより早期マッチングを目指しました。今年度の公的職業訓練修了3か月後の就職件数は目標達成率121.4%と目標を達成しました。

3 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	生活保護受給 者等の就職率	障害者の 就職件数	ハローワーク の職業紹介に より正社員に 結びついた就 職氷河期世代 (35～54歳)の 不安定就労者・ 無業者の件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	人材不足分野 の就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の 就職件数
令和4年度実績	4,248	4,336	2,039	84.1%	94.8%	61.8%	558	606	505	952	275
令和4年度目標	5,242	5,114	2,016	90.0%	90.0%	63.3%	518	816	416	1,150	272
目標達成率	81.0%	84.8%	101.1%	93.4%	105.3%	97.6%	107.7%	74.3%	121.4%	82.8%	101.1%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率